

車座集会「みんなの尼活皆議」

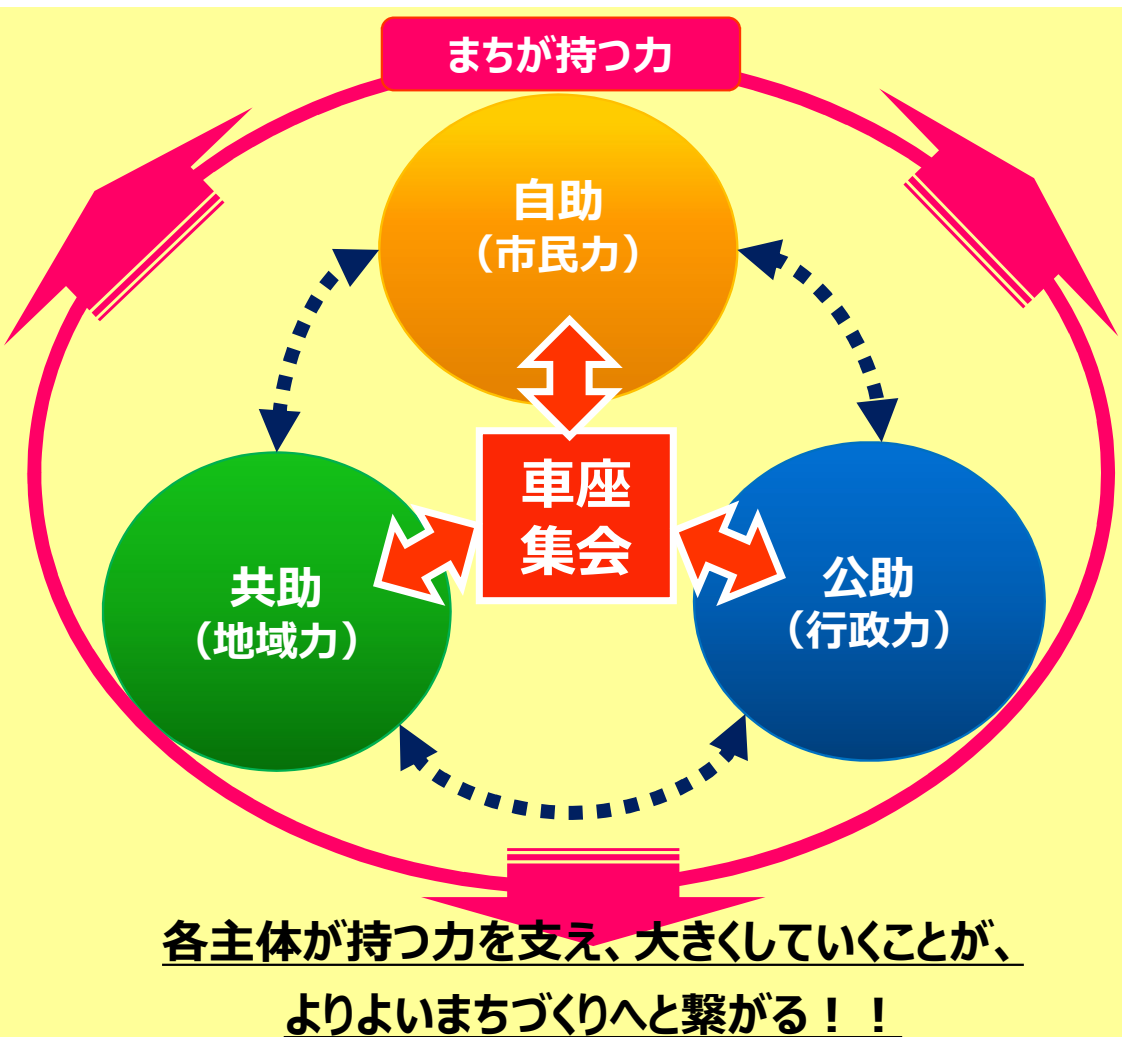
～園田地区にお住まいのみなさまと～

令和6年8月

尼崎市

車座集会の役割（より良いまちづくりに向けて）

市民・地域・行政が一体となって進めるまちづくり



車座集会の役割 ⇄

- まちを支える各主体の課題やニーズの把握に努め、積極的に情報共有や意見交換を図ることで、それぞれの主体が持つ支援力と相互の連携を強め、より効果的な施策展開（まちづくり）へと繋げていく。

■ 自助（市民力）

→ 市民一人ひとりが、自分で出来ることは自分で行うこと

■ 互助（地域力）

→ 「自助」では解決できないような地域課題の解決に向け、多様な主体が連携・協力すること

■ 公助（行政力）

→ 市民や事業者が安心して安全な生活を送るため、インフラ施設の整備などの行政サービスを、市の責任において行うこと

産業都市として発展

➤ 人口集中や産業の隆盛による都市化が急速に進展

- ・ 高度経済成長期における工業生産の拡大に加え、人口急増への対策として、土地区画整理事業により宅地の供給や都市基盤の整備を重点的に実施

➤ 基幹交通網が発達し物流機能が向上

- ・ **名神高速道路**や**国道43号**といった広域的な基幹交通網により、都市間相互の物流機能が向上

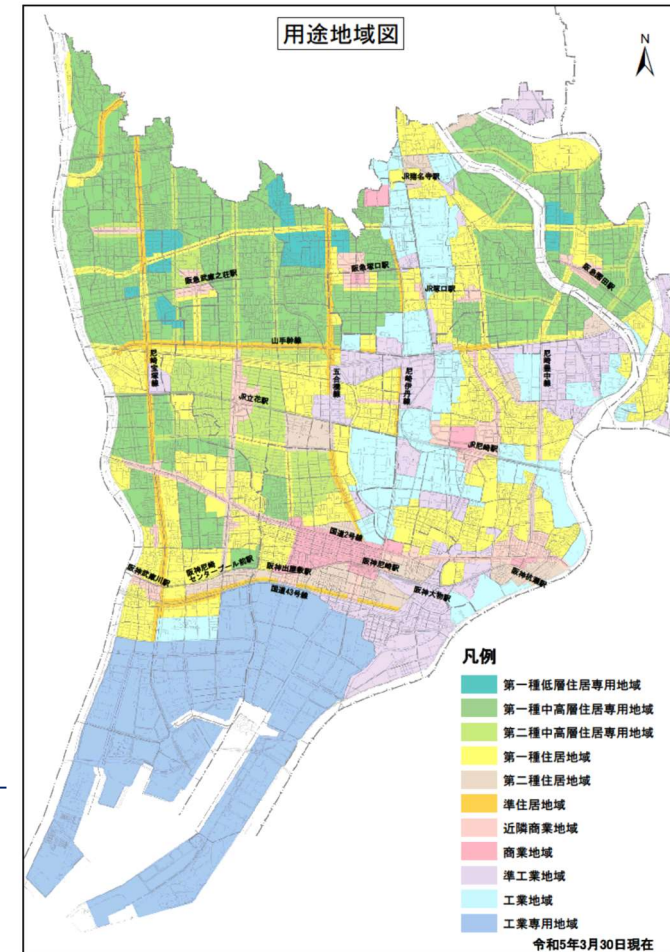
コンパクトな市域における産業機能・
都市機能の集積が大きな強み

一方で…

財政面の悪化や公害問題など、さまざまな弊害への対応が必要となった

(現在の市内用途地域割合)

- ・ 工業地域：36.6%
- ・ 住居地域：57.6%
- ・ 商業地域：5.8%



市の財政状況の改善

20年にわたる行財政改革

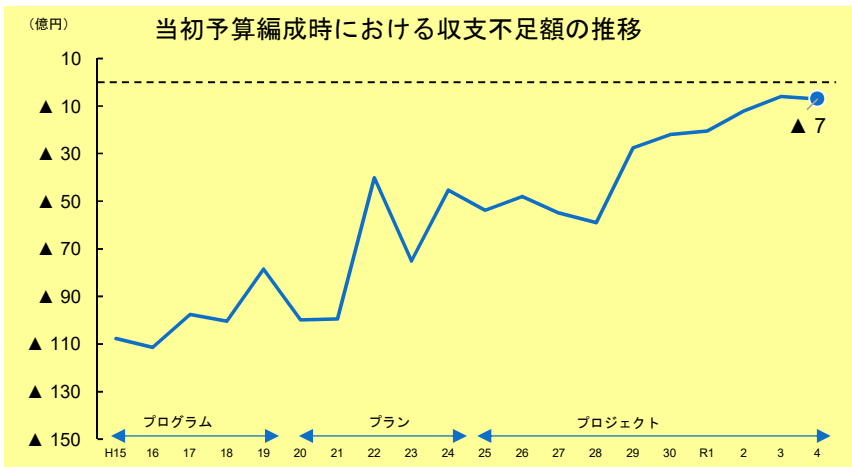
平成15～19年度	尼崎市経営再建プログラム
平成20～24年度	“あまがさき”行財政構造改革推進プラン
平成25～令和4年度	あまがさき「未来へつなぐ」プロジェクト ～持続可能な行財政基盤の確立に向けて～
令和5～14年度	財政運営方針 (尼崎市財政運営基本条例策定【令和4年度】)

【主な取組】

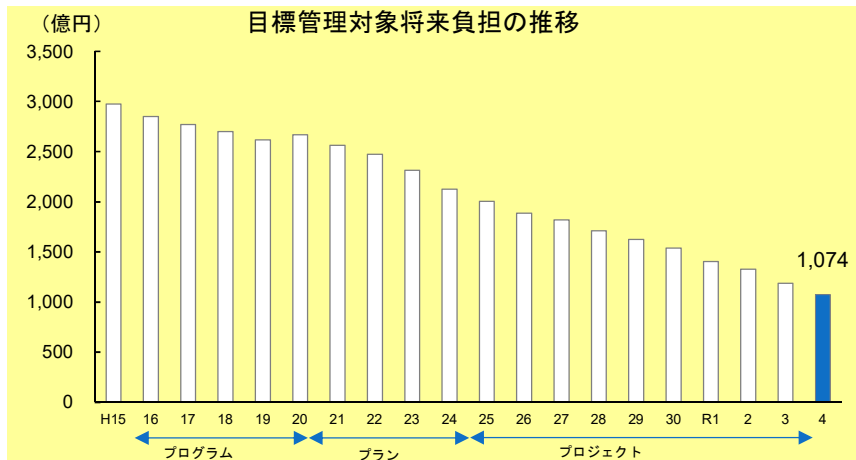
- ✓ 人件費の抑制
- ✓ 外郭団体の整理・統合
- ✓ 公共施設の再配置・整理統合
- ✓ 協働の仕組みづくり など

これらの取組を通して、

➤ 当初予算編成時における収支不足額は改善



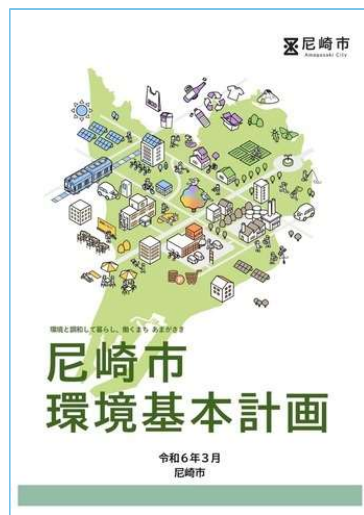
➤ 借入金（市債等）残高は着実に減少



環境課題への対応

良好な環境の確保に向けた取組

- 平成24年度に「環境モデル都市」に選定
 - ・ 低炭素社会の実現に向け高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジしている都市として選定
- 令和3年度には「気候非常事態行動宣言」を表明
 - ・ 2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする脱炭素社会を実現するため、日々の行動を変えていくことを宣言
- 令和6年度から「環境基本計画」を推進
 - ・ これまでの環境への負荷を低減するという視点だけでなく、どのような資源・エネルギーをどのように消費していくかという視点からも取組を推進
 - ・ 環境・資源には限りがあることを前提に、市民、事業者、市が互いに協力し、私たち一人ひとりの意識・行動を変えていくことで、環境と調和したまちの実現を目指す



尼崎市自治のまちづくり条例の制定

▶市制施行100周年となる平成28年に制定

「自治のまちづくりは次に掲げる**基本理念**に基づき、たゆみなく推進されなければならない。」ことを条例に定めました。

- （行政は）まちづくりに関する**情報を共有**すること。
- （市民は）まちづくりについて、知り、学び、及び関心を持つことにより、**シチズンシップを高め**、積極的に**まちづくりに参画**すること。
- 協働の取組によって、一の主体だけでは解決することができない課題を解決することができるなどの**相乗効果を発揮**すること。
- **対話を重ねること**及び**合意に向けて努力を積み重ねる**ことを、まちづくりへの参画及び協働によるまちづくりの基本とすること。

➤ 各地域に**生涯学習プラザ**を設置

➤ 1小学校区に1人の**地域担当職員**を配置

➤ **全地域にプラットフォーム**（地域課題を共有し、解決に向けて学ぶ場）が設置

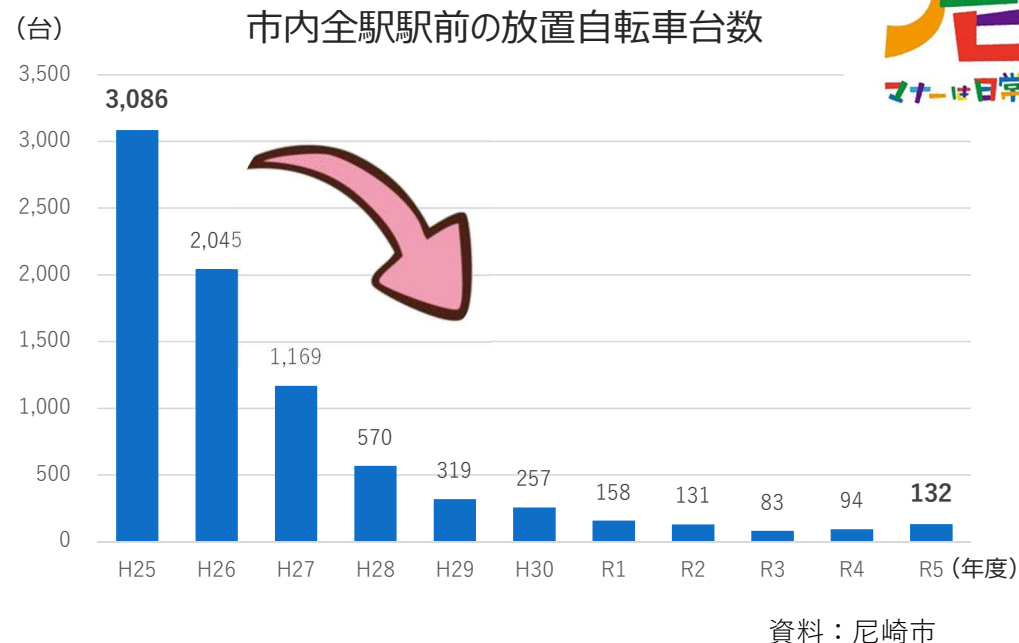
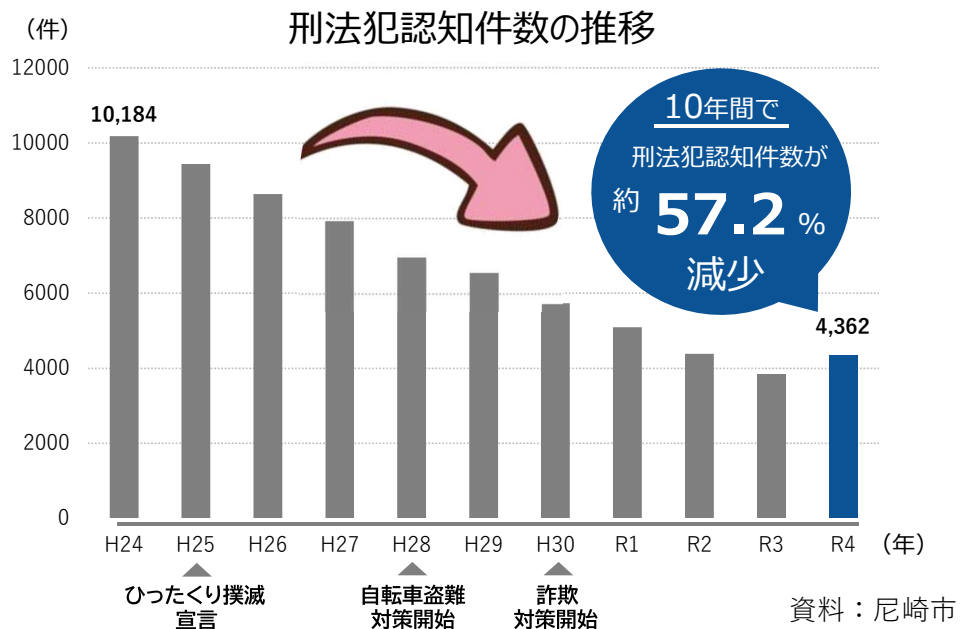
まちにかかわるすべての人が、ともに学び、考え、お互いの力を出し合う自治のまちづくりを推進することで、まちへの愛着を深め、魅力あふれるまちを目指します

自治のまちづくり条例読本



まちの治安向上とイメージ改善 ①

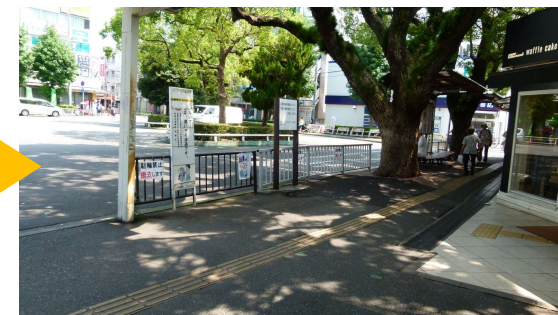
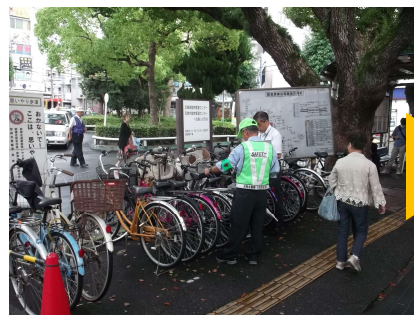
刑法犯認知件数と駅前放置自転車台数の激減



- ・ ひったくりや自転車盗難などの街頭犯罪抑止に取り組んだ結果、刑法犯認知件数が大きく改善
- ・ 包括的な放置自転車対策により放置自転車台数が大幅に改善

資料：（左図）尼崎市ホームページ「犯罪の状況」（データ典拠：兵庫県警察「犯罪統計書」）
 (https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/ansin/bouhan/1019610.html)
 （右図）尼崎市土木部 放置自転車対策担当 資料

阪急武庫之荘駅前の様子



まちの治安向上とイメージ改善 ②

市内全域で歩きたばこを禁止し、 ごみのポイ捨てのない美しいまちを目指して



➤ 平成30年6月に「尼崎市たばこ対策推進条例」を制定

(条例に定めた内容)

- ・ たばこ対策に関する啓発
- ・ 禁煙の支援
- ・ 受動喫煙の防止
- ・ 路上喫煙禁止区域の指定及び区域内での喫煙禁止
- ・ 歩きたばこの禁止 等

健康的にかつ安全で快適に暮らし、
過ごすことができる地域社会の実現



➤ Goodマナー&クリーンキャンペーンなどの実施

まちの美観を損ねるごみのポイ捨て防止に向けた
取組として、市民・事業者・行政が協働し、夏季の
夕方に清掃活動とポイ捨て防止などマナー向上啓発
キャンペーンを実施

クリーン
運動

まちの
美化

シビック
プライド
の醸成

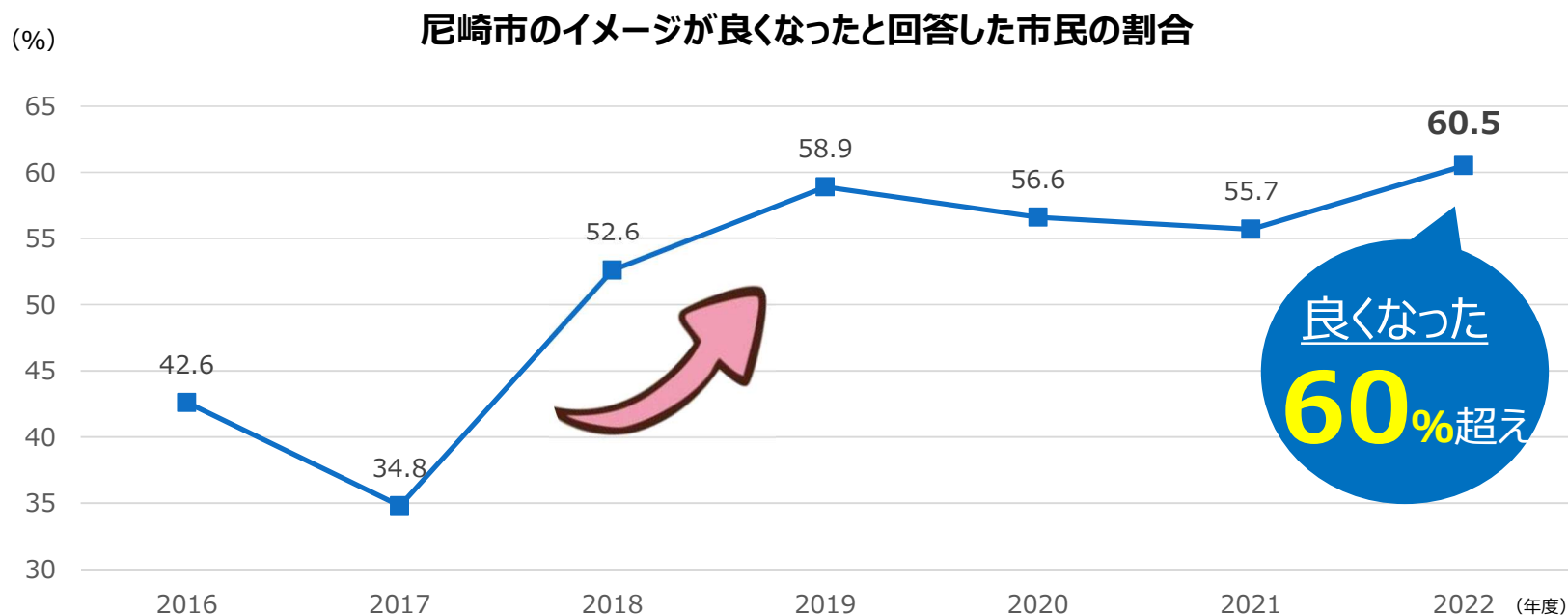
まちの
魅力向上

まちの治安向上とイメージ改善 ③

まちのイメージは着実に改善

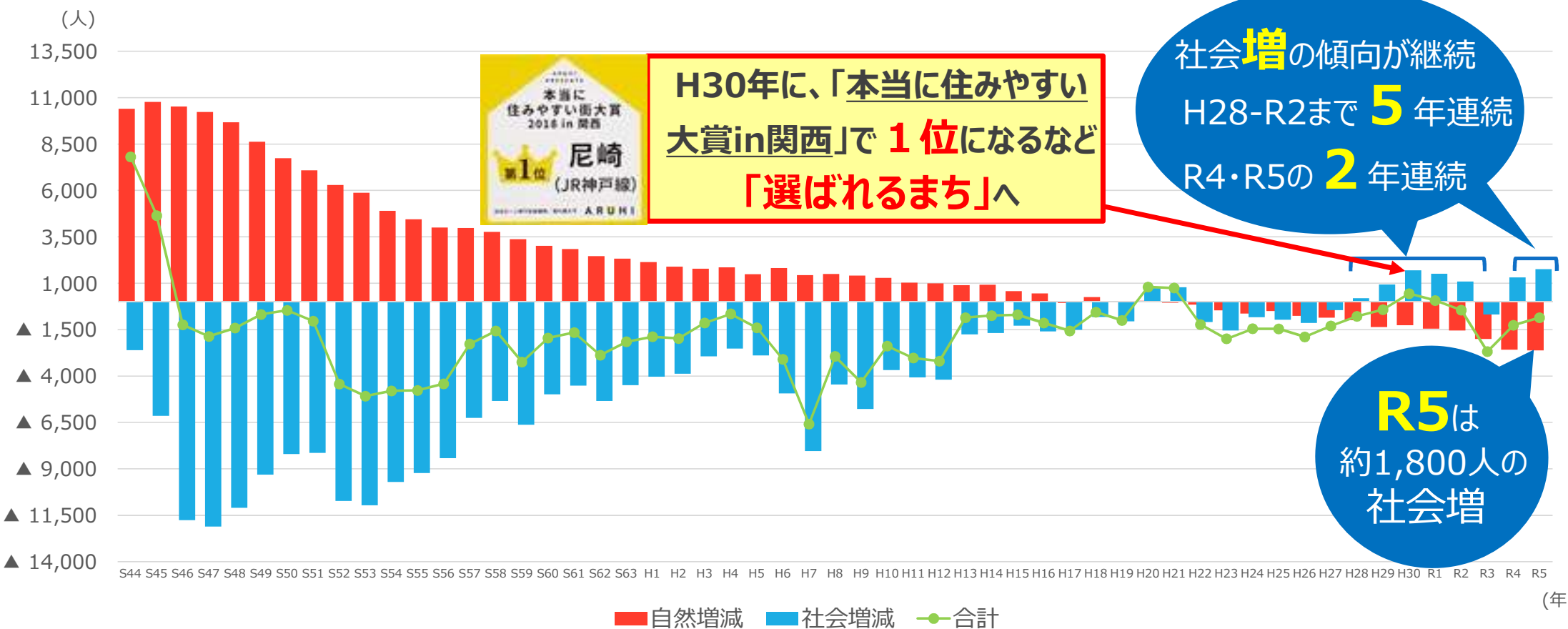
- 戦略的な情報発信に加え、エリアごとの魅力や尼崎の魅力を発信

「尼崎市のイメージが良くなった」と回答した市民の割合が
初めて **6 割** を超える！（令和 4 年度）



住宅供給などにより、

社会増（転入者＞転出者）の状態が継続傾向



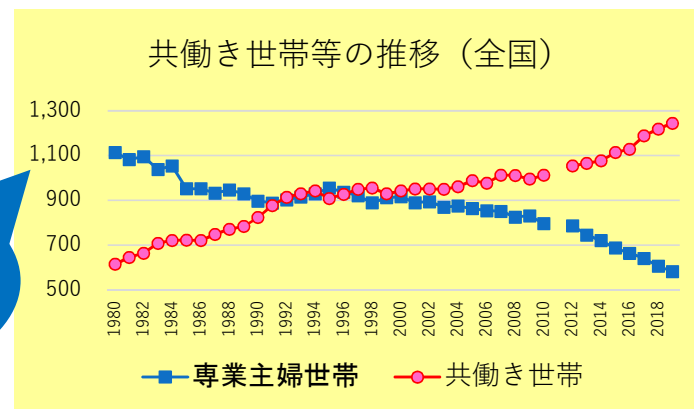
(年)

さらなるまちの魅力向上に向けて ①

「子ども・子育てアクションプラン」の推進

- 「働く」も「子育て」も応援するまちをコンセプトに、子育てに係る支援と環境の充実を図る

全国的に
共働き世帯等は
大きく増加



経済的負担

妊婦健診 出産費用
医療費 制服代 塾・習い事
保育料 給食費

児童ホーム利用料
保育所待機児童
病児保育
煩雑な手続
児童ホーム待機児童
家計の圧迫
子どもの健康・発達
不登校
職場の無理解
一時預かり
産後ケア
いじめ
子育てのいろいろ
漠然とした不安

時間的負担

心理的負担

■ 3つの負担軽減

子ども・子育てに伴う

「**経済的負担**」「**時間的負担**」「**心理的負担**」の軽減を目指す

■ 3年間で40のアクションに50億円の投資

令和6年度から令和8年度の3か年にわたり、子ども・子育て分野**40の項目**に**総額50億円**の**集中投資**を行う

さらなるまちの魅力向上に向けて ②

「住宅施策パッケージ」の推進

➤ 子育て世帯の定住・転入に向けた、良好な住環境を形成する施策を展開

① 民間住宅の誘導

- ・ ファミリー世帯の住宅取得支援（兵庫県と連携）
- ・ 一定規模以上の土地利用における良質な住宅地の誘導

② 公共用地の有効活用

- ・ 子育て世帯に向けた市営住宅の効果的な活用
- ・ 市営住宅等の建替えて創出した余剰地に質の高い住宅を誘導

③ 空き家対策の推進



今後 **3** 年間で
6 億円の
集中投資

さらなるまちの魅力向上に向けて ③

まちのエリアブランディング（投資的事業）の推進

(仮称)武庫川周辺阪急新駅の設置検討



武庫健康ふれあい体育館の整備

農業公園の再整備

市立尼崎高等学校第2グラウンドの改修

阪急園田駅の駅前整備

児童相談所の新設

尼崎市公設地方卸売市場の再整備

新図書館等の整備

阪急塚口駅の駅前整備



大庄西中学校跡地の整備

休日夜間急病診療所の再整備

中央公園のリニューアル



ゼロカーボンベースボールパークの整備



園田地区のまちづくりの状況 ①

地域における「つながり」づくり

▶そのだではなすのだ

- ・誰でも参加できる、ゆる〜い情報交換や交流の場・プラットフォーム（※）を奇数月の第2木曜日に開催
- ・プラットフォームの中で出た相談やつながりをきっかけにイベントや事業を開催



（※）プラットフォーム・・・市民のみなさんと行政が一緒にまちづくりを進めるにあたって、誰もが（ぶらっと）気軽に参加できる“話し合いの場”
園田地区のプラットフォーム⇒「そのだではなすのだ」



はじめての方でも楽しめるウォーキングフットボール

▶「そのだではなすのだ」から生まれたイベントなど

- ・年齢や性別に関係なく安心・安全に楽しめる、歩いてするサッカー「ウォーキングフットボール」を広めたいとの相談から、地域課事業の一環として相談者とともに体験会を開催
⇒体験会では多くの方が参加
⇒地域の学校で再び開催することが決定！
- ・プラットフォームでつながった人が意気投合し、イベントを開催

園田地区のまちづくりの状況 ②

地域の魅力再発見&子育て支援

▶・園田地域の伝統野菜「田能の里芋」

- ・「田能の里芋」を作る市民団体（3団体）や農協等と連携し、「田能の里芋」を地域の魅力の1つとしてブランド化に向けた取組などを伴走・支援
- ・「はじめての里芋栽培講座」を実施し、プラザで「田能の里芋」を地域の方と栽培中



はじめての里芋栽培講座での種芋植え



こんなに大きくなりました!!

▶「子育てカフェ」によるつながり作り

- ・参加者の意見をもとに親子でリトミック（※）やベビーマッサージなどを実施

（※）音楽に合わせて体を動かして表現力を養う音楽教育法

- ・地域で活動する方を講師に招き、地域活動の情報提供や参加者との交流を行い、地域活動のきっかけづくり
- ・保健師や管理栄養士と連携し、相談体制を充実



110人で盛り上がった
クリスマスコンサート♪

親子でリトミック



あまがさきの未来に向けた
まちづくりについて語り合いましょう

